

地域環境科学部

1. 教育上の目的

本学部は、生物に対する深い理解を基調とし、自然と人間の調和ある地域環境と生物資源の保全・利用・管理のための科学技術を確立することを目指すものである。さらに、ミクロな地域環境問題の解決はもとより、マクロな広域環境問題さらにはグローバルな地球環境問題の解決に貢献する人材を養成する。

2. 教育目標

地域環境科学部は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) グローバルな地球環境からミクロな地域環境に至るまでの幅広い知識と理解力を有する者
- (2) 様々な環境問題の解決能力、人と自然との調和ある地域環境と生物資源の保全・利用・管理のための知識や技術を修得した者
- (3) 環境問題の解決や持続可能な地域づくりに関わる社会的使命感と高い倫理観を有する者

3. ディプロマ・ポリシー

地域環境科学部は、生物に対する深い理解と造詣をもって、ミクロな地域環境問題の解決はもとより、マクロな広域環境問題さらにはグローバルな地球環境問題の解決に貢献できる人材を輩出するため、所定の単位を修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) グローバルな視野を持ちながらローカルな地域環境に対する知識をもとに、地域づくりにかかわる諸問題を総合的に捉え理解しうる能力を有している。
- (2) 環境共生型・循環型の地域づくりに関する諸問題に興味・関心を持ち、その問題を解決する意欲と能力を修得している。
- (3) 地域環境科学にかかわる多様な事象を総合的に捉え、地域環境と生物資源の保全・利用・管理のための知識や技術・表現力を修得している。

4. カリキュラム・ポリシー

地域環境科学部は、本学の教育理念「実学主義」に基づく地域体験型学習を通して、地域問題、環境問題にかかわる実践的な知識・技術・解決力を修得し、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、以下の方針のもと教育課程を編成します。

- (1) グローバルな地球環境問題とローカルな地域環境の関係、人間活動と自然環境の関わり、地域づくりの理念と目標に関する理解を深める。
- (2) 実際の地域体験を通じて、地域の自然環境や社会的環境への理解を促し、地域環境や地域問題解決への関心・意欲を高める。
- (3) 持続可能な地域づくりにかかわる技術者として、人類社会における技術の位置づけと社会的責務および倫理観を修得する。

5. アドミッション・ポリシー

地域環境科学部は、グローバルな地球環境から、ミクロな地域環境に至るまでの幅広い知識・理解力を有し、様々な環境問題の解決や持続可能な地域づくりに貢献できる人材の養成を目指しています。そのため、次のような学生を求めています。

- (1) 環境問題や環境共生型・循環型の地域づくり、地域環境と生物資源の保全・利用・管理に興味を持っている。
- (2) 環境問題や環境共生型・循環型の地域づくり、地域環境と生物資源の保全・利用・管理の実現に向けての幅広い知識や関心、柔軟な思考力を身につけている。
- (3) 環境問題や環境共生型・循環型の地域づくり、地域環境と生物資源の保全・利用・管理の実現に向けてチャレンジする意欲を有している。
- (4) コミュニケーション力や表現力などの素養を有している。